

高橋さん

草深先生

宮外さん

名古屋記念病院副院長
MA部主任

高橋 宮外 草深
春香 陽子 裕光
さん さん 先生



取材・文/コムデザイン

医療の業務を支援する MA (Medical Assistant) 部の紹介

名古屋記念病院では、2012年4月に新たな部門としてMA部を設立しました。

MA部が医師や看護師その他さまざまな医療職種の事務業務などを支援することにより、地域の中核的な病院として病院機能の向上に貢献し、進化しつつある姿をご紹介します。

■MA部の基本的な職務と目的は

医師の事務作業補助業務を通じて医師の仕事を支援するとともに、看護師やさまざまな医療職種のサポートを幅広く行うことで、医療従事者の負担を軽減することをMA部の基本的な職務としています。各医療従事者が診療に専念できる環境を整備することで、より良質の医療を効率的に患者さんや地域社会に提供し、公益性の高い社会医療法人の病院として機能向上とチーム医療の推進を目的としています。

■MA部が生まれる背景は

以前より病院勤務医師の過大な負担が

全国的にメディアなどで話題となり、医療現場の大きな課題とされてきました。医師は、外来診察、担当入院患者の回診、手術、カンファレンス(症例検討会)、研修医指導、夜間や休日の当直など医師本来の診療業務を行っていますが、それに伴って多くの事務作業が発生しており、年々増えていくばかりです。この事務作業を軽減することができれば、医師には診療により専念できる余裕が生まれ、医師自身の負担も軽くすることができ、患者さんと向き合っより多くのコミュニケーションを図ることが期待できます。

2008年度の診療報酬改定の時、病院

勤務医師の事務負担の軽減がうたわれました。医師が必ずしも自ら行う必要のない書類作成等の業務について、医師以外の者に担わせることができる体制の充実を促進させることを目的に、『医師事務作業補助体制加算』のしくみが新設されました。

■MA部設置の経緯は

名古屋記念病院では、今から25年前の1989年より看護師が「看護や処置」といった本来の業務に専念することができるように、外来医師の診療介助、病棟での事務的な業務をサポートする役割としてナース